

次世代自動車センター活動レポート Vol.174

■ 金融機関の小規模企業担当者を対象とした 「現場改善」に関するセミナー

次世代自動車センター浜松では、2023年度から、これまで実施してきた3つの支援方針「次世代自動車対応支援」、「カーボンニュートラル対応支援」及び「デジタルものづくり対応支援」に加えて、新たに「サプライチェーン基盤強化支援事業」を実施する予定です。

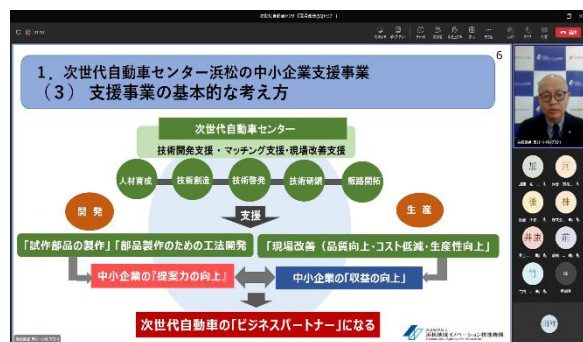
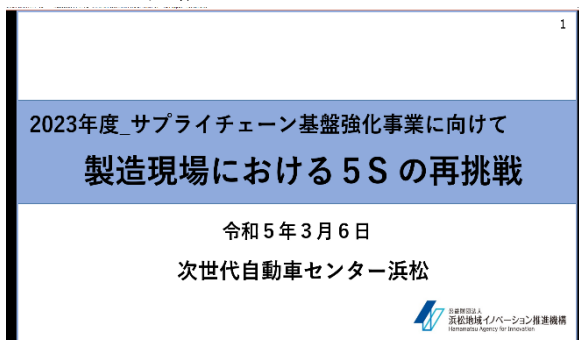
サプライチェーン基盤強化支援事業は、サプライチェーン全体で次世代自動車に対応していくため、その基盤である小規模企業を対象として「現場改善」を支援していく事業です。事業内容としては、「製造現場における5Sの再挑戦」をテーマに、セミナーとワークショップから構成される「現場改善のための基礎講座」を実施する予定です。

今回、来年度実施する上で、基礎講座の受講対象である小規模企業を金融機関等から紹介してもらうため、小規模企業の経営支援を担当する金融機関及び静岡県信用保証協会の職員の皆様を対象として、当センターの望月センター長と眞崎コーディネーターが講師となって「次世代自動車センター浜松の概要」や「現場改善のため基礎講座の概要」のセミナーを開催しました。

■ 日時、場所及び参加者

- ・ 浜松いわた信用金庫：令和5年3月3日（金）15時～17時、Web形式、61名
- ・ 遠州信用金庫：令和5年3月6日（月）15時～17時、遠信本店、41名
- ・ 静岡銀行：令和5年3月13日（月）14時～16時、Web形式、80名
- ・ 静岡県信用保証協会：令和5年3月16日（木）9時30分～11時30分、浜松支店、64名

<Web開催>



<会場開催>



【参加者の声】

- ・次世代自動車の時代に生き残るための中小企業支援に注力しており、中小企業の目線に立って様々な支援をされていることが理解できた。
- ・当店取引先は小規模企業が多いため、QCD を通して「提案力の向上」をめざす必要性を再確認できた。
- ・取引先の次世代自動車への対応について、まずは収益力、経営の健全性を高めるために、生産性の向上を提案していきたい。
- ・既存の技術を生かし、次世代自動車の時代を生き残る中小企業の支援が急務であり、金融機関という立場から支援できることをしていくことが重要。
- ・サプライチェーン基盤強化支援事業でビジネスモデルや提案の例が参考になった。現在中小企業が置かれている状況を再認識できた。
- ・エンジン部品を製造している中小企業に対して次世代自動車センター浜松との連携により今後の方向性が見つかる可能性があると感じた。
- ・5Sが定着しない理由が理解できた。5Sのための5Sではなく、目的・テーマをはっきりさせることの大切さを理解できた。
- ・5Sの必要性、重要性につき、改めて認識した。取引先でも定着していない企業は多くあり、改善が必要と感じた。
- ・5Sについて再確認できた。積極的に工場見学をさせて頂くよう心掛け、企業訪問活動をして行こうと思った。
- ・自分自身が担当している企業を思い浮かべた際に、5Sの徹底が行われている企業とそうではない企業がある。高い意識で徹底している企業については管理面や採算性にも良い影響が出ていると感じた。
- ・5Sの定義について理解を深めることができた。取引先工場（現場）を見学する際のポイントを確認することができた。
- ・5Sにおける10の問題を提起することで、顧客の5Sの取組状況を判断できることや、5Sに取組んでいない企業に、どのような問題が起こるかを学ぶことができた。
- ・現場での重点管理ポイントを明確にして頂いてあったため、すぐに実践で活用していきけると感じた。
- ・製造業にとって最も重要な3つの管理生産・在庫・品質と5Sの関係性が具体的に大変参考になった。
- ・主に生産管理面で小規模零細企業では、例にある良くないパターンが多いと感じた。今後、担当企業について特に重点管理面に注視して業容把握を行っていきたい。
- ・生産・在庫・品質管理における、5Sについてポイントを確認することができた。製造業の管理の基礎や整理整頓されていないことで発生するリスク等を学ぶことによって、5Sの重要性を再認識することができた。
- ・生産管理、在庫管理、品質管理と5Sが深く関わっていることが分かった。無駄の排除により経営効率が高まるため、管理の見直しを行うことが必要。